



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第443号

「司祭不在の時の主日の集会祭儀」導入について ③ フランシスコ・アシジ 谷口尚志

神からの、目に見える救いを実現するための道具として存在する教会共同体

1、呼ばれた者たちの集いである教会

・「教会」はギリシャ語で「集会」を意味する「エクレシア」を訳した言葉です。よって、まずは建物のことではなく、「信徒の集まり」、「呼ばれた者たちの集まり」のことを意味していると分かります。「呼ばれた者」とは、キリストに呼ばれて集められた人のことを指しているため、キリスト教徒とはおのずと「キリストに呼び集められた者たち」という意味になるということなのです。したがって、イエス様は私たちのことを“羊の囲いの中にいる羊”と呼び、ご自分を善き牧者に例えて話され（ヨハネ 10・11～15 参照）、パウロは古いオリーブが植えられた“神の畑”に例えて説明しています（1 コリント 3・9 参照）。この木の根はアブラハムにつながる旧約時代の太祖たちであり、神の畑で成長を続ける木によってユダヤ人と異邦人との和解が実現していくということです。つまり、教会を“耕作地”のイメージとして捉えているのです。また別の箇所では、“キリストの花嫁”として愛され、養われ、いたわられると述べています（エフェソ 5・25～26、29 参照）。なお、建物のことを直接指す場合のために教会堂や聖堂、礼拝堂といった言葉があります。

・主日に信徒が一堂に集うのは、このような自覚が各人にあるからであり、このような自覚なしにキリスト教徒としての義務感や使命感は生じません。幼児洗礼の場合、幼少期に親から連れて来られた体験が、イエス様から呼ばれているのではないかという自覚と結びつく時、その信徒は「教会」の意味を理解するでしょう。そして、成人洗礼の場合、自

今月の聖人	4面
侍者だより	4面
外国語ミサの話・余談 (8)	5面
幼稚園から	6面
小教区委員会報告	7・8面
お知らせ	8面

分の意志で洗礼を受けたはずなのに、神の意志で共同体に招かれたことを体験し、その信徒は「教会」の意味を理解するでしょう。建物についてリフォームや新築などをどのように進めるかを問う前に、まず、このような自覚を持っているのかを各自が自問しなければなりません。実際、集う必要はないという感覚であれば教会堂は必要ないですし、納めるべき維持費の意義もおのずと見失うことになってしまいます。維持費の納入についての責務は、この自覚から生じてくるものであり、司祭から強制されるものでもなければ、親が子に強制するものでもありません。各々の信徒が自らの共同体の集う建物を維持し、教区の運営に協力するために経済援助を行うことは、例えるならば、自分と家族との憩いの場である自宅を維持するために支えることと同じであり、当然なことです。自宅の場合、自らのことだけでなく家族の憩いの場となるように支えるということですから、神と出会う建物を共同体という家族と維持するために維持費を納入することも同じことが言えるということです。だからこそ、支給された年金を削ってまでも維持費を納入して下さる方にいつも頭が下がります。心からの感謝を申し上げつつ、無理はされないようにと、願って止みません。

2、教会共同体への帰属意識（愛着）を持つことの大切さ

『聖体のパンを裂くとき、われわれは主のからだに実際にあずかり、主との交わりとわれわれ相互の交わりにまで高められる。「パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つのからだです。皆が一つのパンを分けて食べるからです」（1 コリント 10・17）。こうして、われわれは皆、そのからだの部分となり（1 コリント 12・27 参照）、「各自は互いに部分なのです」（ローマ 12・5 参照）』。

（『第2バチカン公会議公文書』教会憲章7番参照）

・教会共同体は他人同士ですが、イエス様の思いのもとに集められています。それはこのパウロの言葉が教えているように“自分のもとに一つ”にしたいという意図です。これは“わたしたち共同体の一致”のために何をすべきかの答えです。ご聖体としてご自分のすべてを与えて下さるイエス様との一致を深めることは、共同体の一致のために欠かせないことだということです。つまり、私たちは、私たちの中でのイエス様との一致することによる恵みに触れ、教会共同体のなかの一人としてイエス様をとおして神さまと、そして教会共同体の一人ひとりに奉仕するのです。奉仕は様々な形があり、典礼祭儀での奉仕（司会、オルガンの伴奏、侍者、朗読奉仕、聖歌の歌唱など）に留まらず、小教区委員会、各小グループでの活動や清掃作業、そして、実は学びの場もそれに当た

ります。なぜなら、学びの場（イエス様から教えられ、気づかされた場）によって奉仕することの意味が深まっていくため、直接、学んだ者を奉仕自体に向かわせることになっていくからです。

・司祭不在時の主日の集会祭儀の司会者に選出される信徒は、この“神と共同体に奉仕する”という姿勢を十分に持っている必要がありますし、本人だけでなく、推薦する側の信徒も推薦した信徒に対して私たちのために奉仕して下さっているという姿勢を同じく十分に持っていないとはなりません。司会者は共同体を指導するための才能を発揮してまとめあげるカリスマ的な存在ではなく、あくまで“自分（主）のもとに一つ”にするために神と共同体に奉仕する立場にあるので、選出された司会者を支えようとする意識が欠かせないからです。したがって、普段から所属する教会共同体への帰属意識（愛着）を持ち、どんなことが神と共同体への奉仕につながるのかを深めていくことも必要です。

・「教会」という言葉の持つ意味を理解すると、集められたイエス様の意図を汲み取ろうとし、帰属意識（愛着）を芽生えさせます。その帰属意識（愛着）は信徒であることのプライド（誇り）と責任感と使命感を呼び起こし、それはイエス様が望まれ、ご自分のうちに実現させた神と人類との和解と一致のために奉仕しようと自らを駆り立てることでしょう。自分が信徒であることに興味を持っていますか？自分がこの教会共同体の一人として呼ばれていると感じていますか？神と教会共同体への奉仕に対して喜びを感じていますか？すべてにおいて謙虚になられたイエス様の協力者として招かれていることに幸せを感じていますか？



今月の聖人

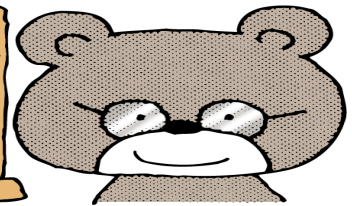
3日 聖シクストゥス1世教皇 在位 116年ごろ-125年ごろ

この時代、教皇はギリシア語の名前を付けるのが通常だった。「シクストゥス」という名は「第6番目」という意味で、聖ペトロの次の教皇から数えて6番目にあたるのでこう呼ばれたのかもしれない。また、ギリシア語の同じ音で「ひげを剃った」という意味もある。彼の時代、ローマ人の間ではひげをたくわえるのがはやっていたので、彼の特徴としてこの名がついたのかもしれない。

当時、キリスト信者たちは厳しい迫害を受けていた。教皇になれば、殉教が待っていることは間違いなかった。こういう状況の中で、教皇となったシクストゥス1世は勇気ある人である。彼は典礼に力を入れ、司祭が感謝の賛歌を唱えるとき、全信徒が司祭と一緒に唱えるべきであると主張した。教皇として10年間を治め、127年に殉教したと言われている。

侍者だより

パウロ濱村 誠治



先日、上川会長より信徒の皆様へ報告して頂いたとおり、侍者服を新調しました。購入理由は、侍者してくれる子ども達が増えた時に侍者服の不足と洗い替えが無かったからです。

購入についての快諾を頂けた事や、購入する段取りをしてくださったこと、前からある侍者服の洗濯をしてくださったこと、そして新調した侍者服のアイロンがけを率先してくださったことなど、ご協力して頂いた信徒の皆様へ侍者を代表してお礼申し上げます。

私も新しい侍者服に袖を通させて頂きましたが、色々と尽くして下さい下さった方々のやさしい心も一緒に身にまとったようで嬉しい気持ちで侍者を務める事ができました。

四旬節が始まって御復活に向けて行きますが、新調して頂いた侍者服のように身も心も清く白くなれるように毎日を過ごして行きたいと思えます。

これを期に侍者をして下さる仲間が増える事を祈り、又御ミサに与れる恵みの偉大さを信徒の皆様と共有出来る事を願っています。

外国語ミサの話・余談 (8)

岩本光弘

今まで様々な国に行く機会がありましたが、一番興味があるのはシルクロードにつながる地域です。特に中国の奥地は今も行きたいところがありますが、もう行くのは無理になりました。そのような思いのスタートは中学生の時に読んだ何冊かの本です。井上靖の「敦煌」や「楼蘭」にも刺激を受けましたが、一番夢を持ったのは、スウェーデンの探検家スウェイン・ヘディンが書いた「さまよえる湖」でした。1990年頃の中国・新疆ウイグル地域は未開の地で探検隊が入る地域でした。88年ごろNHKで放送され話題を呼んだ「シルクロード」シリーズは、私の昔の記憶を呼び起こし憧れの気持ちで夢中で見ました。この放送のころはまだ未開の地が沢山あり、カシュガルの町もロバが歩いていました。

2019年にパキスタンのカラコル山脈へのトレッキングの後、陸路でパミール高原を超えて新疆ウイグルの一番西の町のカシュガルに入りました。同行したガイドも25年ぶりで、25年前はロバと荷馬車と小屋しかなかったと言っていました。2日かけて入った新疆ウイグルの最も西の町でかつて秘境だったカシュガルには、たくさんの車が走り、ビルが建ち大きなホテルが建っていました。私たちが泊ったホテルは北京のホテルと同じクラスでした。郊外には福岡と同じくらい大きな空港があり、私たちはこの空港から北京経由で帰りました。未開のシルクロードの町の夢は完全に砕かれましたが、市場や旧市街にはまだ昔の面影が沢山ありました。町の中を注意して見ると中央政府の締め付けがいっぱいありました。市場に入るのに空港の荷物検査と同じような検査がありましたし、至る所に監視カメラがあり、どの家も国への忠誠を示すために国旗を掲げていました。この地域の人たちはイスラム教なのですが、歴史のある古いイスラム寺院も完全に見張られていました。このような状況を見るとウイグル族の人たちの苦しみを見た気がしました。中国の四川省・雲南省・山西省などの北側は少数民族とチベット族の人たちの地域です。

この地域にも何度も旅をしましたが、各地に沢山のチベット寺院がありました。この寺院のほとんどが、どこも大きく何百人もの僧侶が在籍していました。僧侶が千人以上の寺院も沢山あります。ところがこの寺院も監視されているそうです。

友人の毎日新聞の河津記者にパキスタンに行くときに経由した北京のホテルで会いました。その時、彼は中国の信教の自由について取材を続けている話をしました。その後、中国のキリスト教会についての取材記事を連載しましたが、その記事をまとめたものを私に送ってくれました。信教の自由があることが当たり前の世界に住んでいると、信仰を守ることがどれだけ大変なことかは理解できません。日本のカトリック信徒の中には信仰の自由が無い苦難の時代を生き延びた人たちの子孫がたくさんおられます。以前、ベトナム人の司祭からベトナムでは修道院の土地が政府によって接収されている話や、就職の時にカトリック信者と分かると就職に差別があるという話を聞きました。信仰の自由が無い国はほとんどないことになっていますが、実際には表面上は差別など何も無いように見えて差別が見えてくるのです。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 4月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

もうすぐ大好きな A 組さんが卒園します。お別れ遠足で岡垣サンリーアイに行きました。まだ肌寒い時期でしたが、子どもたちはとても楽しそうに遊んでいました。お弁当は幼稚園で自分たちが食べたい場所にシートを敷いて食べました。お別れ会では、A 組さんが小学校に行って頑張りたいことを発表しました。それぞれ頑張りたいことが決まっていますとても堂々としていました。また



素敵な卒園製作も見せてくれました。今年はタイルアートを作りました。子どもたちからは「すごい！素敵だね！」という声がたくさん聞こえました。卒園してもたくさんの愛に包まれ、大きく成長することができますようお祈りしています。また、無事にみんなで新学期を迎えることができますように。

TEL : 093 201 9559

e-mail : ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



3月になりました。畑では、スナップエンドウが花盛りです。子どもたちがダンゴムシを見つけて大騒ぎをしています！水巻町から、たくさんのお花の苗をいただきました。子ども達と一緒に、プランターに土を入れて、「土をふかふかにして、お花を植えようね。」と、せっせとスコップで土を耕しています。土を手で触ってみたり、スコップで土をすくったり混ぜたり・・・準備をしました。ノースポールやパンジー、ピオラ、シバザクラ、ペチュニア、バーベナなど、たくさんの苗を植えました。プランターの土に少し窪みを作って、子どもたちが一つひとついねいに植えていきました。お花がいっぱいです！



TEL : 050 5212 7759

<https://www.mariahouseofchildren.jp>

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美 教職員 一同

委員会等報告

2025年3月分

3月度小教区委員会 3月16日

1. 行事予定

- ・ 4月 6日(日) 9時～ミサ
ミサ後～小教区委員会
14時～直方教会／地区聖書講座①
※四旬節の黙想会を兼ねる。
- ・ 4月13日(日) 9時～ミサ (Fr,熊川師)
ミサ後～教会学校
- ・ 4月17日(木) 聖木曜日 19時～
- ・ 4月18日(金) 聖金曜日 19時～
- ・ 4月19日(土) 復活徹夜祭 19時～
- ・ 4月20日(日) 復活の主日 9時～
ミサ後～パーティー
13時～ベトナム語ミサ(小倉教会)
(聖週間は全て Fr,熊川師です)

2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

① 広報委員会

- ・ 特になし

② 典礼委員会

・ 聖週間に向けての準備を進めているが、枝の準備をいつするか調整しなければならない。聖なる3日間の朗読奉仕者については調整済み。

③ 総務委員会

・ 岩本ナセ氏の一身上の理由により、委員長が田中拓氏へ交代することとなった。4月度の小教区委員会から出席する。

④ 財務委員会

- ・ 特になし

⑤ 営繕の部

・ 新しく着任する主任司祭を迎えるため、司祭館内の設備を確認し、修繕すべきところは修繕しておく必要がある。

⑥ 納骨堂管理の部

- ・ 特になし

⑦ 冠婚葬祭の部

- ・ 特になし

⑧ 北九州地区宣教司牧評議会

・ 3月2日(日)に新田原教会にて行われた典礼、広報、社会福音化、青少年、宣教・養成委員会の担当者初顔合わせを行った。今後、各委員会における活動を充実化させ、小教区内での活動と連動できるようにしていく。

・ 教区創立100周年のための記念誌作成のため、各小教区の紹介文を8月末までに準備しなくてはならない(原稿量はA4用紙一枚程度。他に聖堂内外の様子、信徒全体を写した写真数枚も必要。詳細は後日)。4月度の小教区委員会で役割分担を行うようにする。

(2) その他

・ 各地区における小教区委員長の立候補者が皆無だったため、役員会にて推薦し、4月度の小教区委員会にて報告する。

・ 司祭不在時の主日の集会祭儀の司会者の推薦について。紙面での互選を3/30(日)

まで行い、その後、主任司祭の承認を経て正式に推薦された信徒が6月8日(日)から始まる計4回の養成講座(詳細は後日)に参加することになる。

・2月16日(日)に行われたスロープと階段部分についての報告会を受け、今後、具体案を提示していかなくてはならない。なお、司祭館(事務室)として使用している園舎部分が幼稚園側の事情により使用できなくなる場合も想定されるため、小教区委員会としては以下の案を採用することとする。

一スロープと階段部分の補修を繰り返しながら使い続ける。(経済的事情を考慮するな

らばこの案が妥当)。

※ただ、スロープと階段を使うことが難しい方のため、祭儀が行われる際、1階の信徒会館内でライブ配信を視聴できるようにする。司祭館は幼稚園の建て替えまでは使用し、建て替え後は新築しない(事務室のみ信徒会館内をリフォームして新設する)。※みやこ町/豊津教会のように司祭が常駐しないことを前提している。

一よって、まずはスロープの下部の雨漏り部分を修繕するために見積りを取り、さらに信徒会館内でライブ配信を視聴できるように設備を整えていくことを始める。



★聖週間のお知らせ★

○受難の主日(枝の主日)

4月13日(日) 9時～

○聖木曜日 4月17日(木) 19時～

○聖金曜日 4月18日(金) 19時～

○復活徹夜祭 4月19日(土) 19時～

○復活の主日 4月20日(日) 9時～

聖週間の司式は、熊川神父様です。

★各募金の中間報告★

第7回目の送金を2月26日に行いました。

能登地震支援 68,967円

ガザ人道支援 65,830円

ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

★四旬節の黙想会★

4月6日(日) 14時～ 直方教会

※地区聖書講座を黙想会に兼ねます。

★ゆるしの秘跡★

今回、ゆるしの秘跡を3月30日のミサ前後に行いました。

この日に受けていない方は、聖週間のミサの前後にも、熊川神父様がゆるしの秘跡をしてくださるようです。

人・ひと

【転出】お元気で!

◇山元 節子さん

中間地区から小倉教会へ

※4月のカレンダーは、わかる範囲までしか掲載していません。

週報をご確認ください。